



2022年 4月25日
第190号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



JR 福知山線脱線事故から17年

2005年4月25日、JR 福知山線脱線事故が発生しました。制限速度70キロのカーブに列車が116キロで進入、カーブを曲がり切れず沿線のマンションに先頭車両と2両目が衝突、5両目までが脱線しました。この事故により、運転士を含め107名が亡くなりました。



事故から10年の2015年4月25日の現場の様子。列車が衝突したマンションは事故当時のままだった。現在は『祈りの杜』として、マンションの一部が保存されている。

事故の原因として、ミスした運転士へ懲罰的な「日勤教育」を行う、またミスの報告を怠る、虚偽報告を行った運転士にはより厳しい「日勤教育」を行うという社員個人に責任を押し付ける JR 西日本の運転士管理法が関与した可能性があるとして運輸安全委員会の事故調査報告書で記されています。

JR 福知山線脱線事故から17年が経ち、「事故当時は小学生だった」という JR 社員も増えてきています。いま JR 東日本はどうですか？

私たち JR 東労組は JR 西労の仲間と交流しながら若い世代を含め現地に立ち、JR 福知山線脱線事故の教訓を学んでいます。私たちが語り継ぎ、二度と同じような事故を起こさないために声をあげ、行動していかなければなりません。

**絶対に忘れない。絶対に繰り返さない。
若い世代に語り継ぎ、鉄道の安全を守り抜こう。**